

涙をこえて

金屋中・3 百瀬 愛未

私は学ぶことが好き
でも
できないことがあるとすぐ泣く
でも

これが私を強くする

小学三年生のとき

漢字が上手にかけなくて泣いた

上手にかけないことが悔しい

こんなときいつも母が言ってくれた

「レベルアップの涙じゃん」

「もつと泣け」

この母の言葉が私を強くする

だから私は今

上手に字がかける

あのときレベルアップしたから

あのとき頑張ったから

中学三年生になって

受験生コースの塾に入った

復習問題を解く

習ったはずなのに

解けない

わからない

鉛筆が進まない

周りの子はスラスラと

鉛筆を進める

書く音が教室に響いている

できてないのは私だけ？

涙があふれてくる

涙をぐつとこらえた

帰ったら一人で思いつきり泣いた

気がつけば

何度も涙をぬぐった手の甲が

びっしょりぬれていた

このときふと父の言葉を思い出した

「大事なのは過去の自分を比べること」

周りとは比べていた

過去の私はできていた問題が

今の私には解けない

このとき頑張ろうと思えた

この父の言葉が私を強くする

私は今受験生

できない問題で泣く

何度だって涙を流していい

涙を流すたび

強くなる

レベルアップする

私にとって魔法の言葉

この言葉をもって
頑張れ私